



新春メッセージ

質の高いホスピス緩和ケアに向けて踏み出そう



NPO法人
日本ホスピス緩和ケア協会
理事長 志真 泰夫

2012年の年頭にあたって、会員の皆さんに20周年記念事業等へのご協力に感謝を申し上げるとともに、新しい年のはじめにメッセージを送りたいと思います。昨年、2011年は国全体にとっても協会にとっても大変な年でありました。わが国は地震と津波の大きな自然災害である「東日本大震災」に続いて、「福島第1原発事故」というチェルノブイリ原発事故に匹敵する重大事故を経験しました。協会にとっては20周年記念年次大会を区切りとして、これまで歩んできた道を振り返るとともに、被災した会員とともにこれから歩む道を模索する日々が始まった年でした。

2011年は、協会として本格的な政策提言を開始した年でありました。2011年2月28日、3月4日に今後の医療計画見直しにあたって、「在宅医療の推進に向けた意見」を厚生労働省医政局政策医療課に提出しました。さらに、6月14日には「平成24年度介護保険改定に向けた提案」、9月2日には「平成24年度健康保険および診療報酬改定に向けた提案」を厚生労働省に提出しました。この2つの提案は、山崎委員長はじめ「介護保険・健康保険検討委員会」の委員の皆さん、特に、河委員の働きに負うところ大なるものがあります。

これらの「意見」「提案」を通じて、わたしが協会のこれからの課題として考えることは、次の三つであります。第1は、わが国のホスピス緩和ケアは

「緩和ケア病棟」と「在宅ホスピス緩和ケア」を車の両輪として進めていかねばならないこと、第2は二つの車輪をつなぐ軸として「緩和ケアチーム」を育てること、第3は「緩和ケア病棟」「在宅ホスピス緩和ケア」「緩和ケアチーム」を全体のバランスを取りながら発展させてゆくこと、以上の三つであります。本年1月29日には、日本緩和医療学会と「専門的な緩和ケア」をめぐっての意見交換会が予定されています。わたしは、協会としては上記の3つの観点をふまえて、日本緩和医療学会と専門的な緩和ケアの発展に向けて協働してゆきたいと考えています。

さて、その上で昨年の「新春メッセージ」で掲げた「選択と集中」を基本とした「ホスピス・緩和ケア病棟の質の評価と質の向上」「ホスピス緩和ケアの専門的かつ継続的な教育研修のシステム作り」という二つの課題は、未だ道半ばであります。質の評価と質の向上は、評価委員会に三つの部会を作りスタートしました。教育研修のシステム作りも教育支援委員会に三つの部会を作り、始めました。昨年は「緩和ケア病棟における医師研修指導指針」が高宮部会長はじめ「緩和ケア病棟における医師研修検討部会」の部会員の皆さんの努力で形にすることができました。今年度は、これらふたつの委員会の活動が徐々に形となって現れてくるものと期待しています。

わたしは、昨年1年の出来事を振り返って、他の国が経験したことのない試練のなかを、わたしたちは歩み始めたと感じています。いわば「海図なき航海」であり、多くの人々の知恵と経験知、知識と前向きな思考、そして、情熱とエネルギーを結集して自らの力を頼みとして、進んでゆかねばなりません。そのなかでホスピス緩和ケアがわたしたちの社会にしっかりと根づき、質の高いホスピス緩和ケアを誰もが享受できる社会を目標に会員の皆さんと共に歩みを進めたいと思います。

2012年度 年次大会開催予定

日時 7月14日(土)・15日(日)

【場所】イイノホール&カンファレンスセンター
〒100-0011 東京都千代田区内幸町2-1-1
<http://www.iino.co.jp/hall/index.html>



▲会場外観

プログラム

今回は、報告や講演を聞くだけでなく、参加者が積極的に意見を出し合い、今後の協会の活動を皆で考え、会員全体で創りあげていくような参加型の会にしたいと考えています。

7月14日(土)

- 13:30-16:30 総会
- 第1部 活動報告・決算、活動計画・予算、役員改選など
 - 第2部 協会の今後の活動について
 - ①「診療報酬改定に関する協会としての取り組み」
山崎 章郎(健康保険・介護保険検討委員会 委員長)
 - ②「医療計画の見直しと協会の今後の活動」
志真 泰夫(日本ホスピス緩和ケア協会 理事長)
- 17:00-19:00 懇親会

7月15日(日)

- 9:00-15:00 分科会
- 1) ホスピス・緩和ケア病棟での医師研修のためのワークショップ
 - 2) 緩和ケア病棟におけるケアの質向上に向けて
—どう評価して、何に取り組むか—
 - 3) ホスピス緩和ケア病棟における質の高い看護を提供する組織作りとは
(第2回ホスピス緩和ケア病棟看護管理者セミナー)
 - 4) MSW「教育・共育 Part 1 (教える・育てる・共に育む)
—ネットワークングスキルをどう磨くか—
 - 5) 診療報酬の改定と緩和ケアのこれから—協会提言を振り返りながら—

【参加申し込み方法や各プログラムの詳細は、4月上旬にご案内いたします】

首都高速都心環状線

金融庁 文部科学省 財務省 外務省

桜田通り

日比谷線霞ヶ関駅

丸の内線虎ノ門駅

千代田線日比谷駅

丸の内線日比谷駅

経済産業省 農林水産省 厚生労働省 環境省

日本郵政ビル〒 資源エネルギー庁

愛宕通り

日比谷野外大音楽堂

日比谷公園

日比谷公会堂

日比谷通り

三田線内幸町駅

三田線内幸町駅

外堀通り

イイノホール&カンファレンスセンター

イイノホール&カンファレンスセンター

【交通】

- 東京メトロ
 - 丸の内線・日比谷線・千代田線「霞ヶ関」駅 C3出口から徒歩1分
 - 銀座線「虎ノ門」駅 9番出口徒歩3分
 - 有楽町線「桜田門」駅 4番出口徒歩10分
- JR
 - 山手線・京浜東北線・東海道線・横須賀線、都営地下鉄浅草線、ゆりかもめ「新橋」駅 徒歩10分
- 都営地下鉄
 - 三田線「内幸町」駅 A6出口より日比谷シティ経由で直結
- お車で越しの方
 - 地下に時間貸し駐車場約200台完備

2011年度 ホスピス緩和ケア週間 実施報告

2011.10.2[sun]-8[sat]

日本ホスピス緩和ケア協会では、「世界ホスピス緩和ケアデー(World Hospice and Palliative Care Day)」を最終日とした一週間(2011年度は10月2日～8日)を「ホスピス緩和ケア週間」とし、ポスターの掲示及びセミナーや見学会の実施などを通して、緩和ケアの啓発普及活動に取り組んでいます。

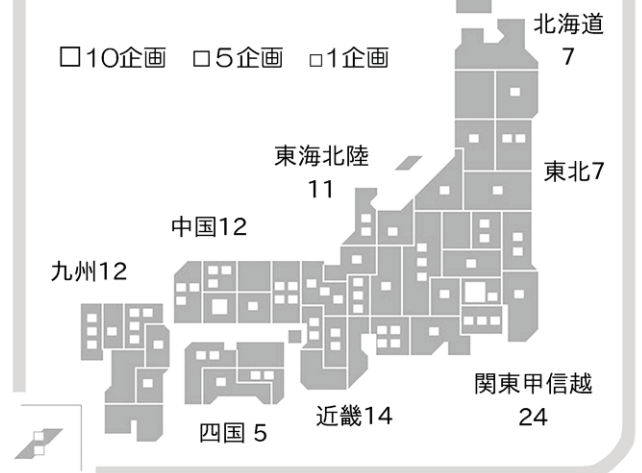
また、厚生労働省が2007年度より日本緩和医療学会に委託している「緩和ケア普及啓発事業」(オレンジバレーンプロジェクトとして活動)に、日本死の臨床研究会、日本ホスピス在宅ケア研究会、日本がん看護学会、日本緩和医療薬学会、日本サイコオンコロジー学会と共に参画し、「ホスピス緩和ケア週間」を通して、事業に協力してきました。

本年度は、全国の協会会員、がん診療連携拠点病院、日本緩和医療学会の会員より、講演会やパネル展示など92の企画が寄せられ、一般市民、患者家族、医療関係者など16,000名あまりの参加がありました。また、歌声で世界を結ぶ「Voices for Hospices」の開催年とも重なり、コンサートでハレルヤを合唱したとの報告もありました。企画をお寄せいただいた皆様には厚くお礼申し上げますと共に、今年度の実施状況を報告します。

各地域の企画登録状況

合計92企画

□10企画 □5企画 □1企画



【当日の様子】 各企画より提出された写真の一部をご紹介します。

北海道



【がん・緩和ケアのパネル展示】
王子総合病院

岩手県



【コンサート】
盛岡赤十字病院

宮城県



【復興ライブカフェ】
穂波の郷クリニック

福島県



【住職による落語口演】
坪井病院

茨城県



【地域の訪問看護師を招いた見学会】
筑波メディカルセンター病院

東京都



【市民公開シンポジウム】
日の出ヶ丘病院

世界のホスピス緩和ケアデーの様子

2011年度のホスピス緩和ケアデー（World Hospice and Palliative Care Day）および Voices for Hospices には、159ヶ国から企画の登録がありました。

アジア太平洋地域では15ヶ国から登録があり、オーストラリアでは、南アフリカの姉妹病院へ使わなくなった輸液注入ポンプを寄贈、中国では緩和ケアに関する無料診療所の開設、台湾ではホスピス財団による企画開催の呼び掛け、モンゴルでは緩和ケア功労者の授賞式など、様々な催しが行われました。

また、インドでは、WPCA（World Wide Palliative Care Alliance）による報告書で、緩和ケア提供水準の著しい改善が認められたことから祝賀の雰囲気にも包まれ、医療者や患者家族が地域の病院を訪ねてパンフレットを配布するウォークラリー、有名ミュージシャンや映画俳優によるコンサート、写真展など、各地で様々な企画が開催されました。各国からの報告・WPCAによる報告書は、ホームページ（<http://www.worldday.org/>）でご覧いただけます。

World hospice & palliative care day
Voices for hospices 2011

東京都



【リフレクソロジーセミナー】
日本リフレクソロジスト養成学院

長野県



【がん体験者による講演会】
長野赤十字病院

石川県



【相談コーナーの設置】
石川県在宅緩和ケア支援センター

岐阜県



【市民講座での朗読劇】
高山赤十字病院

京都府



【カフェでの緩和ケアサロン】
みんなのカフェちいろば

岡山県



【遺族会】
岡山県済生会総合病院

徳島県



【大型スーパーでのパネル展示】
県内複数の病院・団体による合同開催※

福岡県



【緩和ケア病棟お月見会】
那珂川病院

長崎県



【街頭での啓発活動】
県北ブロック緩和ケア認定看護師会

※近藤内科病院（ホスピス徳島）、徳島大学病院、徳島赤十字病院、徳島県立中央病院、徳島市民病院、阿南医師会中央病院、徳島市医師会、徳島往診クリニック、がんフレンド

企画内容 ※1つの登録企画内で複数の企画開催有

①一般向けの講演会・フォーラム	33
②医療従事者向けのセミナー・研究会	10
③ロビー・お茶会等でのコンサート	29
④ホスピス緩和ケア関連のパネル展示	24
⑤緩和ケア相談コーナーの設置	19
⑥チラシ・オレンジバルーングッズ配付	16
⑦緩和ケア病棟見学会	12
⑧音楽療法・マッサージ等の体験	7
⑨緩和ケアに関するDVDの上映	6
⑩遺族会・他病棟との職員懇親会等	4
合計	160

参加者内訳

一般市民・患者・家族・学生・教員・遺族・医師
 ・看護師・薬剤師・ソーシャルワーカー・宗教家
 ・作業療法士・理学療法士・臨床心理士・ケアマネジャー・栄養士・相談員・音楽療法士・セラピスト・事務職員・保健師・介護福祉士・介護士・ボランティア 他

合計：16,609名（展示会来場者は含まず）

企画参加施設種別

協会会員 70施設	／	会員以外 23施設	
[内訳] 協会会員		緩和ケア病棟	48
		緩和ケアチーム	7
		一般病院	7
		診療所	4
		準会員(法人/個人)	4
会員以外		日本緩和医療学会会員	9
		がん診療連携拠点病院	7
		学会会員・拠点病院	6
		他(製薬会社)	1

※共催の場合は各施設を参加施設としてカウント。
 複数の施設が1つの団体として主催している場合は、代表施設のみを参加施設とした。

2012年度世界ホスピス緩和ケアデー &ホスピス緩和ケア週間

2012年度の「世界ホスピス緩和ケアデー」は、10月13日(土)です。

「ホスピス緩和ケア週間」は世界ホスピス緩和ケアデーを最終日とした、10月7日(日)～10月13日(土)の一週間を予定しています。

詳細については8月頃にご案内いたしますが、皆様には引き続き「ホスピス緩和ケア週間」を通じた啓発・普及活動にご協力下さいますようお願い申し上げます。



第11回理事会報告

2011.12.3開催

【報告事項】

2011年度活動（報告：事務局）

総会・創立20周年記念大会

- ・アンケート結果より、総会と大会を分けて開催したことは賛否両論であったが、総会の内容としては各委員会の活動を理解していただく良い機会となったようである。
- ・記念大会は、各プログラムとも好評であったが、20年の歴史をDVDにまとめて紹介したことは、特に好評であった。
- ・意見交換ができる場がなかったことが残念との声があったので、来年度の年次大会の参考にしていく。
- ・創立20周年記念誌「20年の歩み」は、国立国会図書館に寄贈した。

※「会員の入退会」「ホスピス緩和ケア週間」、「年度アンケート・施設概要調査」、「求人広告掲載事業」の報告については、当ニューズレターの記事として掲載。

委員会活動

◆評価委員会（報告：志真 泰夫）

1. 緩和ケア機能評価部会

- 1) 日本医療機能評価機構との連携・協力について
 緩和ケア付加機能評価の受審認定施設については、14施設がVer. 1を受審、9施設がVer. 2を受審。Ver. 2の内、5施設が2010年度に受審、4施設が2011年度に受審している。
 受審施設のリストを協会ウェブサイトへ掲載、また、機構のウェブサイトに公開されている施設の受審結果に、協会ウェブサイトからリンクを張る方向で機構と連絡を取る。
- 2) ホスピス緩和ケア病棟の自己評価について
 新しいバージョンは、大枠の項目が固まってきており、今後、信頼性・妥当性を検討。緩和ケア病棟に関わるできるだけ多くのスタッフが、評価に参加できる方法を考えている。
 オーストラリアで行われている自己評価法を参考にするため、2012年2月頃に小野部会長他が視察予定。

2. 緩和ケアの質に関する調査部会

- 1) 緩和ケア病棟における臨床指標調査について
 カテゴリーとしては、構造（病室の広さ・スタッフ数など）、入退院関連（利用患者数・平均在院日数など）、患者特性（年齢・疾患など）、治療関連（抗がん治療等の施行率・オピオイド使用量など）、遺族ケア（遺族会の実施回数など）を考えている。
 看護ケアやアウトカム指標についてのデータ取得はなかなか難しいが、今後更に検討していく。
 理事会の了承を得た後、2012年度年次大会で会員へ説明し、パイロットスタディを行った上で、最終的な項目を絞り込みたい。一年程度の試行調査を考えている。臨床指標のデータを取得することが可能と判断した後、本調査に入る段取りを考えている。

3. 質向上のためのプログラム開発部会

部会メンバーが、「緩和ケア病棟の質向上に向けた取り組みと工夫」について、計7施設を訪問し、聞き取り調査を実施。

調査結果から、質改善の具体的な提案として、例えば入院前の患者情報を取得するためのシート、看取り・悲嘆についてのパンフレット作成、カンファレンスの持ち方などの提示ができるのではないかと考えている。今後更に検討していく。

ケアの質の評価と質向上のためのプログラム開発は関係し合うので、評価部会と同日に部会を開催し、意見交換を行っている。2012年度の年次大会分科会も共同開催し、意見交換の場を持ち、今後の活動に繋げていく。

◆教育支援委員会（報告：田村 恵子）

1. 緩和ケア病棟における医師研修検討部会

現在、緩和ケア病棟における医師研修の受け入れに関する実態調査を行っている。途中経過だが、213施設中回答のあった122施設では、約6割が過去一年間に研修を受け入れたことがあり、約5割が現在も受け入れ可能と答えている。

今後は、研修のガイドライン作成に取り掛かる。部会の名称を他の部会に合わせ、「医師教育支援部会」へ変更する。

2. 看護師教育支援部会

1) 看護管理者セミナー

2011年 8月28日に第一回セミナーを開催。今回は、関東甲信越支部が企画を担当し、テーマは「ホスピス緩和ケア病棟の専門性とそれを支える看護」、83名の参加があった。2012年度は九州支部、2013年度は北海道支部が担当し、実施予定。

2) 看護師教育カリキュラム改訂作業

現在、理事によるレビューに基づく修正作業を行っている。1月中に暫定版を完成させ、更なる内容の吟味と普及方法を検討していく。

3. MSW教育支援部会

『MSWスキルアップ教育プログラム』の教材の内、「カウンセリング」・「ネットワーキング」・「チームアプローチ」について、追加訂正の作業を行っている。

◆健康保険・介護保険検討委員会（報告：山崎 章郎）

2011年2月に「在宅ホスピス緩和ケアの継続が困難であった事例のアンケート調査」、7月に「緩和ケアに関する診療報酬改定に向けての調査」を実施。各調査結果に基づき、6月に介護保険制度改正に向けた提言、9月に健康保険および診療報酬改定に向けた提言を厚生労働省に提出した。

本提言は会員のニーズに基づいたものであり、2012年の診療報酬改定に、反映されることを期待している。11月には、緩和ケア病棟の診療報酬に関して提言していくための基礎データ集積を目的として、具体的に何がどれくらい診療報酬を圧迫しているかを見るための調査を行った。100施設以上から回答があり、回答結果を分析しているところである。今後も、定期的に診療報酬に関する会員のニーズ調査を行い、ホスピス緩和ケアの質の向上に繋げていきたい。

◆総務委員会（報告：長田 明 ※田島誠一委員長の代理）

認定NPO法人（以下、認定NPO）の指定要件が緩和され、取得しやすくなった。協会として認定NPOを取得する利点、申請に係る事務作業など、情報を収集し引き続き検討していく。

【審議事項】

2012年度年次大会について

日 時：2012年7月14日（土）・15日（日）
場 所：イイノホール&カンファレンスセンター
（東京都千代田区）

※プログラムなどについては、2ページの案内に掲載

内容については、参加者が報告や講演等聞く受け身的なものだけでなく、積極的に意見を出し合い、今後の協会の活動を会員全体で作り上げていくような、参加型のプログラムとする。

なお、年次大会は、2003年度より支部の持ち回り制により地方で開催してきたが、今後暫くは定例総会と各委員会による分科会の開催などを中心とするプログラムとし、東京都内で開催することが承認された。

2013年度年次大会について

2013年度は7月13日（土）・14日（日）の日程で、東京都内にて開催予定。

任期満了に伴う役員の改選について

NPO法人の役員任期は2年であり、2012年の総会が役員改選の時期となるため、各支部から選出された支部代表理事候補と、理事会から推薦された理事候補および監事候補を、総会に推薦することが承認された。

看取りのパスについて

Liverpool Care Pathway (LCP) : 英国において作成され、「全国EoLC戦略」で標準的に利用されている「看取りのクリニカルパス」。日本では、2004年から当協会がリバプールにある本部に登録を行い、LCP日本語版の翻訳活動が開始された。2009年にプレテストを経てリリース後は、日本ホスピス・緩和ケア研究振興財団の助成事業として「LCP日本語版普及グループ」が普及活動を実施。

日本語版看取りのパスの普及は、今後、看取りのケアの標準化と質の向上に寄与するのではないかと考える。協会として新たな作業部会を作り、普及啓発に取り組むかどうかについて検討した。

日本人の感性や習慣に当てはまる、日本独自のケアパスウェイ作成の重要性が確認された。

プログラム開発部会の聞き取り調査では、入院時から看取りまでのチェックリストを独自に作成している施設もあり、こうした取り組みなどとも合わせて検討していく必要がある。

まずはプログラム開発部会の検討課題とすることとなった。



日本緩和医療学会「専門的緩和ケア推進委員会」への参加協力について

専門的緩和ケア推進委員会：
2010年10月に、日本緩和医療学会から協会に参加協力依頼があり、同年12月23日に行われた第一回意見交換会に、本家好文理事、山崎章郎理事、山口聖子理事が出席した。

2012年 1月29日に、第二回意見交換会が開催される予定である。

今回は、緩和ケアチーム・緩和ケア病棟の現状把握が主眼になると思われる。学会が実施した、緩和ケアチームの全国登録調査結果と、協会が実施している施設概要調査の結果をもとにして、問題点や課題について検討する。

今後は評価委員会が窓口となり協力していくこと、また、1月の意見交換会には、志真泰夫委員長と各部会長（本家好文部会長、小野充一部会長、宮下光令部会長）の参加が承認された。



▲理事会の様子

寄付報告

当協会では、協会の事業に賛同し、応援して下さる個人や団体からのご寄付を受け付けており、2011年10月以降、匿名希望の方より100,000円のご寄付をいただきました。

ご寄付のお願い

私どもの活動は、協会の事業に賛同し、応援して下さる個人の方、団体からのご寄付によって支えられています。皆様の温かいご支援をお待ちしています。詳細については、

- ①氏名（法人の場合は法人名と連絡担当者名）
- ②住所
- ③電話番号
- ④メールアドレス（お持ちでしたら）

以上を明記の上、郵送かFAXで事務局までお問い合わせ下さい。関係資料をお送りいたします。また、メール、お電話でも受け付けております。

直接お振込みいただく場合、振込先は下記の通りです。

【振込先】

三菱東京UFJ銀行 新富町支店
口座：普通預金 3677396
名義：特定非営利活動法人
日本ホスピス緩和ケア協会
理事長 志真 泰夫

求人広告の掲載について

当協会では、ホスピス緩和ケアに携わるスタッフの充実をはかり、ケアの質の向上を目指すことを目的として、2010年9月より正会員施設の求人広告をホームページに掲載し、本年11月15日までに、56施設の情報を掲載しています。事務局では、今後、求人掲載をどのように運用していくかを検討するため、登録施設に求職者からの問い合わせ状況を伺っており、その結果を以下に報告いたします。

1. 登録施設のケア提供形態

ケア提供形態	施設数	ケア提供形態	施設数
緩和ケア病棟	40	病棟・チーム	6
緩和ケアチーム	0	病棟・在宅ケア	3
在宅緩和ケア	7	合計	56

2. 求人登録職種

(※1施設で複数の職種を登録している施設も有)
医師：35件、看護師：31件、その他の職種：2件
合計 68件

3. 登録施設における職員採用状況

- ◇ 契約成立 4件（医師3件、看護助手1件）
- ◇ 問い合わせがあり選考中 3件
- ◇ 問い合わせがあったが採用に至らなかった 6件
- ◇ 問い合わせのみ 2件
- ◇ 別のルートで採用 2件

求人広告の掲載を希望される場合は・・・

求人広告の掲載は協会の正会員を対象としており、ご利用は無料です。掲載期間は4ヶ月で、期限以降も継続希望の連絡があれば、引き続き掲載いたします。

掲載を希望される場合は、会員専用ページから登録票をダウンロードし、必要事項に記載の上、事務局まで郵送して下さい。

ダウンロードができない場合は、事務局までお問い合わせいただければ、登録票をお送りいたします。

なお、広告に掲載される病院の様子のできる写真については、理事長の承認後に事務局から担当者宛にメールにてお問い合わせいたします。



入会・施設基準届出受理施設について

2011年6月に行われた総会議事録でご報告して以降、下記の通り入会および新たに施設基準の届出が受理されたとの連絡がありましたので、ご報告致します。

- ★緩和ケア病棟入院届出受理施設
- ☆緩和ケア診療加算届出受理施設

【正会員：新入会】

- ★協和マリナホスピタル（兵庫県西宮市）
- ★医療法人光仁会 西田病院（佐賀県伊万里市）
- ★医療法人三和会 国吉病院（高知県高知市）
- ★岡山協立病院（岡山県岡山市）
- ★大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター（大阪府羽曳野市）
- ☆高知医療センター（高知県高知市）
 - ・市立芦屋病院（兵庫県芦屋市）
 - ・医療法人縹愛会 石川病院（愛媛県四国中央市）
 - ・医療法人財団慈生会 野村病院（東京都三鷹市）
 - ・大分赤十字病院（大分県大分市）
 - ・静岡赤十字病院（静岡県静岡市）
 - ・まるやまホームクリニック（広島県福山市）
 - ・あすか山訪問看護ステーション（東京都北区）
 - ・医療法人聖徳会 小笠原内科（岐阜県岐阜市）

【正会員：区分変更】

- ★医療法人平和会 平和病院（神奈川県横浜市）

【準会員：入会】

- ・医療法人 坂本医院（北海道札幌市）
- ・日本スウェーデン福祉研究所（東京都港区）
- ・佐藤 哲観（青森県弘前市）
- ・小坂亜希子（東京都青梅市）
- ・菅野 康二（埼玉県越谷市）
- ・安部 英治（熊本県熊本市）

【賛助会員：入会】

- ・柴田 央（茨城県竜ヶ崎市）
- ・佐山 和弘（愛知県東海市）



会員動向（2012年1月1日現在）

地域別	北海道	東北	関東甲信越	東海北陸	近畿	中国	四国	九州	合計	
正会員	病棟	11	14	60	27	32	20	12	47	223
	チーム	2	2	19	0	6	1	1	1	32
	一般病院	5	4	17	10	5	4	3	9	57
	診療所	2	5	17	2	4	3	1	10	44
	小計	20	25	113	39	47	28	17	67	356
準会員	法人	3	4	10	1	0	3	3	2	26
	個人	2	3	19	5	7	2	1	5	44
	小計	5	7	29	6	7	5	4	7	70
賛助会員	法人	0	1	7	2	2	1	0	0	13
	個人	4	1	14	5	4	1	1	0	30
	小計	4	2	21	7	6	2	1	0	43
合計	29	34	163	52	60	35	22	74	469	

ホスピス緩和ケアに関する情報について



協会では毎年、各正会員へ施設概要の確認をお願いしておりますが、年度途中でも新たに施設基準の届出をされた施設や、所在地・担当者などの登録内容に変更がある場合は、事務局（info@hpcj.org）までご連絡下さいますようお願い申し上げます。

なお、協会では、全国の緩和ケアを提供する病棟・チーム・診療所、その他の施設・団体の把握に努めております。新たな緩和ケア病棟の開設などの情報をお持ちでしたら、事務局までお寄せいただければ幸いです。

調査ご協力のお礼

施設概要・利用者数に関する調査

昨年4月に予定されていた本調査は、3月に起きた東日本大震災の影響で、11月に延期いたしました。今回は、複数の調査と合わせてご協力をお願いしたこと、延期により4月1日時点の概要を遡ってご回答いただくことになったこと、調査結果の公開可否などの項目を新たに追加したことから、いつも以上にお手数をお掛けしたものと存じます。ご多用のところ、調査にご協力いただいた皆様には、厚くお礼申し上げます。

緩和ケア病棟における医師研修の実態調査

今回の調査で得られた結果は、協会会員施設における教育の現状把握に留まらず、研修希望者への情報発信など、今後の医師教育支援部会の活動に活用していきたいと考えています。

